

令和5年度吹田市立図書館の目標

吹田市立図書館では、「吹田市立図書館サービス基本計画(令和5年度(2023年度)－令和14年度(2032年度)」において、図書館が目指す3つの基本目標と、その目標を具体化するための個別の図書館サービス事業－9つのサービス方針を掲げています。この9つのサービス方針に基づいて令和5年度の具体的な目標、取組を定め、進捗状況を点検しながら、その実現を図っていきます。

3つの基本目標

- 基本目標1** 地域の情報拠点として、いつでも、どこでも、だれにでも役立つ図書館を目指します。
- 基本目標2** 生涯学習を支援して、人生を豊かにする図書館を目指します。
- 基本目標3** 子育て支援や学校との連携を通して、子供の健やかな成長に役立つ図書館を目指します。

基本目標1 地域の情報拠点として、いつでも、どこでも、だれにでも役立つ
図書館を目指します。

サービス方針1 資料と情報の提供

【令和5年度の目標】

- ◎職員のレファレンス(※1)技術向上にむけての育成ツールを作成します。
- ◎児童書の年齢別リストの改訂を行います。
- ◎地域資料のデジタル化をすすめ、資料閲覧における利便性の向上を図ると合わせ、ホームページやメールマガジン、SNSでの資料紹介を通して地域の情報発信を行います。
- ◎限られた書庫の収納スペースを有効に活用するために、各館の特色に応じた資料の保存方針を整理し、蔵書の適正化を図ります。

(指標)レファレンス受付件数		
令和3年度(策定時)	令和4年度実績	令和5年度目標
10,455 件	10,421 件	11,500 件

※利用者、他自治体、行政、学校などから受けた質問の総件数

サービス方針2 バリアフリー読書支援サービス(障がい者サービス)

【令和5年度の目標】

- ◎利用者の要望や意見をサービス改善に役立てるため、「障がい者サービス利用者懇談会」を引き続き開催します。
- ◎市立図書館で製作したアクセシブルな書籍等(録音図書、点字図書、さわる絵本)を全国で利用できるよう、サピエ(視覚障害者情報総合ネットワーク)図書館(※2)と国立国会図書館へデータ提供を行います。また、それらの資料を製作する音訳者、点訳者の養成講座を開催します。
- ◎対面朗読サービスの利便性の向上を図るため、遠隔コミュニケーションアプリ(Zoom)の活用をすすめます。
- ◎市立図書館が提供しているサービスについての認知度拡大のため、図書館ホームページやメールマガジン、案内リーフレット、声の市報すいた、図書館だよりなどのコンテンツを充実させます。また、点字図書館、サピエ図書館及び国立国会図書館についても紹介します。
- ◎多様な読書方法への興味や関心を抱くきっかけづくりとして、体験型イベント「見て、聴いて、さわって楽しむ読書の世界 in すいた」を開催します。

(指標)アクセシブルな書籍等の年間貸出点数		
令和3年度(策定時)	令和4年度実績	令和5年度目標
31,803 件	32,697 件	経年比増

※デイジー図書(※3)、テープ図書、点訳図書、さわる絵本(※4)のダウンロード数及び総貸出数

サービス方針3 持続可能な運営

【令和5年度の目標】

- ◎図書館サービスを取り巻く環境変化や新たな課題に対応しつつ、キャリア形成の段階に応じて専門的能力を発揮できるよう、人材育成の計画を作成します。
- ◎施設管理や窓口委託業務について、より持続可能な運営を行うため、同一業務を複数の図書館で一括で委託することを視野に入れ、業務の見直しを進めます。
- ◎効果的・効率的な運営を推進するため、ICTを活用したサービス提供の検討を進めるのと合わせて、令和8年度に予定する図書館電算システムの更新に向けた準備を進めます。

(指標)ICT の活用
令和5年度目標
次期図書館電算システム構築案の作成

基本目標2 生涯学習を支援して、人生を豊かにする図書館を目指します。

サービス方針4 利用促進

【令和5年度の目標】

- ◎新規サービスはもとより、図書館サービスの基本的な情報を利用者に周知するため、ホームページやSNSでわかりやすく紹介します。特に「利用登録方法」や「予約サービス」について重点的に取り組みます。
- ◎現在図書館を利用していない市民へ利用を促すため、図書館外でのPR活動や吹田市生涯学習出前講座(※5)、講師派遣の取組を行います。
- ◎館内のデジタルサイネージを活用したり、サインや掲示案内を工夫したりすることで、効果的な情報発信を図ります。また、図書館が身近に感じられるような、図書館ホームページやSNSでの情報発信の方法を検討し、利用促進を図ります。

(指標)市民の利用登録率		
令和3年度(策定時)	令和4年度実績	令和5年度目標
25.0%	25.6%	27.1%

サービス方針5 特色あるサービス

【令和5年度の目標】

(1) 健康・医療情報サービス

◎市民の健康増進をはかるため、健康・医療に関する講座を年2回以上開催します。

◎パスファインダー(※6)を新たに2種類作成し更なる充実を図ります。

(2) 多文化サービス

◎吹田市に在住・在勤・在学の外国人を支援するため、類縁機関と連携し、外国人利用者の図書館見学会を年1回以上実施します。

(3) ビジネス支援サービス

◎市民の経済活動を活性化するため、ビジネスパーソンを対象とした講座を年1回以上開催します。

◎関係部署と連携を図り、ビジネス支援だよりを年1回以上発行します。

◎類縁機関と連携したビジネスサービスが展開できるよう、協議を進めます。

(4) 就労・就業支援サービス

◎市民の経済的活動を支援するため、資格取得の問題集や参考書、電子図書の充実を図ります。

◎若者の社会参画や就労を支援するために、類縁機関と連携し、就労支援事業や各種講座に協力します。

(指標)関係機関との連携(連携した企画の実施回数)	
令和4年度実績	令和5年度目標
5回	数値目標4回/年

※4回=(1)~(4)の施策×1回

※主催・共催企画を対象とする。3回連続講座は3回と数える。

サービス方針6 施設や地域との連携

【令和5年度の目標】

- ◎市内に所在する大学と連携し、図書館実習生の受入、及び大学図書館の紹介、留学生や司書課程受講者向けの図書館施設見学などを行います。
- ◎子育て世代や児童の利用を促すため、近隣の児童センターとの連携を深め、講座や行事を連携して行います。
- ◎司書の専門性や図書館の活用方法を広く知ってもらうため、吹田市生涯学習出前講座において、司書の専門知識を活かした講座や図書館の魅力をPRするメニューを提供します。
- ◎子育て世代や児童の利用を促すため、幼稚園や保育所、留守家庭児童育成室、児童会館・児童センターなど子供に係る施設や団体に対し、本に係る情報を提供します。また、講師派遣や出前講座などを行います。
- ◎吹田市内にある各施設の魅力を互いにPRするため、吹田市立博物館など市内施設と連携した企画を実施します。

(指標)講師派遣回数(目標回数 10 回/年に対する達成度)		
令和3年度(策定時)	令和4年度実績	令和5年度目標
20%	100%	100%

※10 回=9館1分室×1回

※吹田市生涯学習出前講座の講師とサービス方針9(5)講師派遣の回数を合わせる。

サービス方針7 市民との協働

【令和5年度の目標】

- ◎乳幼児サービスに関わるボランティア(0～3歳向け読み聞かせボランティア)の新規養成と技術向上のために、養成講座及びスキルアップ講座を継続して開催します。また、交流会を行い、より一層の協働を進め、ボランティア団体の活動を支援します。
- ◎バリアフリー読書支援サービスに関わるボランティア(音訳、点訳、さわる絵本製作ボランティア)の新規養成と技術向上のために、養成講座及びスキルアップ講座を継続して開催します。また、交流会や懇親会を行い、より一層の協働を進め、ボランティア団体の活動を支援します。
- ◎年度登録制の個人ボランティア図書館フレンズ(※7)については、継続して50名以上の登録を目指します。
- ◎図書館資源(施設・資料)を活用した地域との協働企画を進め、地域づくりに貢献します。

(指標)ボランティア総数		
令和3年度(策定時)	令和4年度実績	令和5年度目標
580人	586人	養成講座定員分増

基本目標3 子育て支援や学校との連携を通して、子供の健やかな成長に
役立つ図書館を目指します。

サービス方針8 児童サービス

【令和5年度の目標】

- ◎ブックスタート事業(※8)については、絵本配布率80%を目指し、保育所赤ちゃん会や離乳食講習会に参加し、事業の説明や絵本の配布を行うほか、新たにSNSを活用したPRを行います。
- ◎乳幼児期から本に親しむ環境をつくるために、「抱っこで絵本講座」(※9)を全図書館で実施し、地域の状況に応じて、各館1～2回開催します。
- ◎本や図書館に親しみを持つきっかけを作るため、おはなし会などの定例行事、「子どもと本のまつり」(※10)、季節ごとのおたのしみ会などを引き続き実施し、参加者増を目指します。
- ◎YA(12～18歳)世代の利用促進を図るため、電子書籍をPRします。また、YAサポーター(※11)などYA世代自身が参加する取組を継続して行い、本や図書館に親しみを持つ働きかけを進めます。

(指標)行事参加者数(対象人口に対する目標割合)		
(策定時)	令和4年度実績	令和5年度目標
16.2%(★)	24.9%	経年比増

★0歳から18歳の人口に対する割合。平成29年度から令和元年度の平均

サービス方針9 子ども読書活動支援センター(※12)機能

【令和5年度の目標】

- ◎市立小中学校との定期連絡便の利用促進に向けて、調べ学習や授業に役立つ図書のセットを作成するなど、より利用しやすい仕組みを用意します。
- ◎教諭との交流や読書活動支援者への技術的サポートを引き続き実施するほか、図書館との連携の取組事例を提示し、活用促進を図ります。
- ◎図書館を身近に感じてもらえるように、学校の要望に応じて、図書館見学や学校訪問、図書館訪問を実施します。訪問が困難な場合は、動画等の提供などの工夫をします。
- ◎子供たちの読書のきっかけを作り、図書館の利用促進を図るため、新学期や夏休みなど学期に合わせて図書や図書館を紹介するリーフレットなどを作成し、市立小・中学生に提供します。
- ◎市立小・中学生の1人1台の学習用端末における「すいた電子図書館」の利用を増やすため、より気軽に読書を楽しめるコンテンツを増やすなどの取組を進めます。
- ◎放課後の児童の読書活動を支援するため、留守家庭児童育成室への団体貸出を行います。

(指標)学校への団体貸出冊数		
令和3年度(策定時)	令和4年度実績	令和5年度目標
25,978 冊	32,379 冊	経年比増

図書館語句解説

※1 レファレンス(サービス)

何らかの情報あるいは資料を求めている図書館利用者に対して、図書館員が仲介的立場から、求められている情報あるいは資料を提供ないし提示することによって援助すること。調べ方を教えたり、関連する機関を紹介するなど、司書が個別的に援助する諸業務全体をさしている場合もあり。

※2 サピエ(視覚障害者情報総合ネットワーク)図書館

全国の点字図書館や公共図書館が製作又は所蔵する本の点字データや音声データを集積し、視覚障がい者などがパソコンや携帯電話でダウンロードすることにより利用できるよになっている。また全国の図書館が所蔵する約66万タイトル以上の資料のデータを利用することができる。

※3 デイジー図書

国際規格であるDAISYフォーマットによりデジタル録音された音声図書。パソコンで音声データを録音し、編集作業を施して、活字本を読むような形で耳からの読書ができるようにした音訳図書。専用の再生機(プレクストーク)や再生ソフトで聞くことができ、本と同じように見出しやページで呼び出したり、飛ばし読みができる。

※4 さわる絵本

視覚障がい児などが触覚で鑑賞できるように、絵本を原本にして、フェルトや皮、毛糸など様々な素材を使って絵の部分を半立体的に表現して製作された絵本。

※5 吹田市生涯学習出前講座

吹田市の仕事やこれから取り組もうとしていることを、市職員が直接出向いて話す事業。吹田市立図書館では「親子で絵本とわらべうた」「図書館使いこなし講座」などのメニューを提供。

※6 パスファインダー

ある特定のテーマについて、資料や情報を探すための手順を簡単にまとめたもの。

※7 図書館フレンズ

平成 24 年(2012 年)から個人登録のボランティアとして図書館が募集し、活動しているグループの名前。

※8 ブックスタート事業

絵本を介して赤ちゃんと家族の絆を深め、心豊かな成長を支援することを目的とする活動。イギリスのバーミンガムで 1992 年に始まった。吹田市では図書館と保健所が協力して実施。4 か月児健康診査等の案内時にお知らせを同封し、図書館に来館した対象者に絵本を 1 冊贈っている。

※9 抱っこで絵本講座

1歳児とその保護者を対象とした絵本の読み聞かせについて学ぶ 3 回連続の講座。読み聞かせの意義や年齢に合った絵本の選び方、読み聞かせの方法を図書館司書が解説する。実際に親子で絵本を読み、読むスピードやページをめくるタイミングなどを具体的に学ぶ。

※10 子どもと本のまつり

子供に本を読む楽しさや喜びを知ってもらうために、毎年 4 月 23 日(子ども読書の日)から約 1 か月間、講演会や工作教室、おはなし会などの子供向け行事を全館で行っている。

※11 YA サポーター

図書館で活動する市内在学・在住の中学生から 18 歳までのボランティア。本の整理や掲示物の作成、絵本の読み聞かせや工作教室といった行事の補助などを行う。

※12 子ども読書活動支援センター

学校、幼稚園、保育園、児童会館、児童センターとの連携を進めるため、令和 3 年度(2021 年度)に中央図書館に担当を設置した。子供の読書活動に関わる団体などへの支援を包括的に行っている。